

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	P.P.P.ヒマワリ！児島		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 1日		令和7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 1日		令和7年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者への状況共有、勉強会や茶話会などコミュニケーションを取る時間を設け、困り感や相談等を受けている。	保護者が送迎に来られる際、当日の様子を丁寧に伝えていく。また、連絡帳、電話連絡等も定期的を実施し子どもの様子、頑張っていることの共有や保護者の方の困り感など傾聴し、共感しつつ、助言している。	日々の連絡や定期的な電話連絡の実施の他、年に4回程度親子体操や保護者の勉強会、茶話会を実施しているが、いつも決まったメンバーの出席になっているため、他の保護者の方も行ってみたい、話してみたいなど興味を持っていただけるような企画をしたい。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流、地域への働きかけが少ない。	地域との交流場面や地域へのはたらきかけについて、どのような手順をふむか分からない。 事業所の向いには保育園もあるが、交流の場を設けることができていない。	他事業所や他法人が実施している地域交流や地域へのはたらきかけについて情報収集する。 実施可能なものから部分的に実施していく。（保育園にも交流の依頼をしてみる。）
2			
3			

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 7年 3月 14日

事業所名 P.P.P.ヒマワリ！児島

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	4	個別の部屋が少ないため、部屋を区切ったりして、落ち着くことが出来るようにしている。	
	2 職員の配置数は適切である	3	10	午後から職員が少ないため、他クラスと連携はしている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	6	クラスによって差があるが、特性に応じた空間をつくっている。 昇降時に手すりを持つよう声かけしている。	壁面の掲示物など刺激になるものが多い為減らすようにする。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11	2	毎日掃除当番を決め、清潔な環境が提供できるよう努めている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	6		
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	1		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	4		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	6		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	12	0	月1回外部の講師より支援に関するの助言をいただく研修を実施している。	研修に行く職員が決まっていることが多い為、いろいろな職員が参加できるようにしていきたい。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	12	0		
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	1		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11	0		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9	2		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	9	3		
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	3		
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	11	0	勤務時間の関係でその日にはできないが、次の日などにやりとりをしている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	2	日案を作成している。	前日に打ち合わせが出来る場合は行っている。当日でなければ難しい場合もある。 一直前に確認し合うようにしている。
18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	4	勤務時間によって話し合いが出来ないことがあるため、クラスノートで共有している。	勤務時間が違うため、振り返りができていないことがあるため、振り返りの時間は設けていきたい。	

関係機関や保護者との連携	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11	1		
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	2	福祉プラザで行われているニコニコ体操に職員を派遣している。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	7	0		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	0		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	1		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	11	0	状況調査票の共有と共に、見学の機会を設けている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	3		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	11		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している	6	3	管理者、児発管が中心に参加してる。	イベントや研修等について、直接支援員が参加できるような現場の調整を進めたい。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0	電話等で定期的に連絡を行っている。		
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	5	具体的な関わり方は、懇談でお伝えしたり、イベントで療育の様子を見ていただきながら助言したりしている。	今年度研修を職員が受けている為、今後は開催していきたい。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0	入所時の契約の際に重要事項説明書で説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	0	日々の支援内容を送迎時や電話連絡で行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	10	1	年に4回程度、保護者の方との茶話会や勉強会を開催している。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	11	1	連絡帳、電話連絡、送迎などによるやり取りの中で聞き取りを行っている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	1	毎月園だよりを発行している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	11	1		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12	0		

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	7		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10	1		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12	0	月1回避難訓練を行い、津波想定では近くの高校に行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	12	0	指定の様式に記入いただいている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11	0	同上	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	1		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	毎月定例で人権会議を実施している。	パート職員等の契約職員と一緒に会しての研修や会議の実施難しい為、グループに分けてや動画視聴など工夫して同じ研修や会議が実施できるように進めたい。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9	0		実際に行っている事例が無い。 →必要が生じた際に慌てないよう、具体例を見るなどしておく。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和7年 3月 14日

事業所名 P.P.P. ヒマワリ！児島 保護者等数(児童数) 31 回収数26件 割合 83%

	チェック項目	ご意見				ご意見を踏まえた	
		はい	どちらでもない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25	0	0	1	戸外活動は少し狭さを感じる。ホールが広いので子どもたちが走り回れる環境だと思います。普段の過ごし方はよくわからないから。遊びたい物が見つけやすく伸び伸び遊べる。	戸外、室内での遊び方を考え、安全に楽しく遊べるようにしたいと思います。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	23	0	0	3	職員の人全員に専門性があるかは分からないから。表情等の違いを先生が見つけてこどもに寄り添ってくれる。	今後も職員研修に取り組み専門性を高めたいと思います。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	25	1	0	0	分かりやすく絵カードなどでしているから。わかりやすくなっていると思う。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	25	0	0	1	いつ伺ってもキレイです。子どもに聞いた時も汚れていないと言っていました。子どもたちに合った空間なのかまいち分からない。清潔でなければうちの子は遊べないので、とてもきれいなんだと思います。	整理整頓など清潔な環境を提供します。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	26	0	0	0	先生や相談員の方とよく話をしているからこちらのニーズも受け取っていただいています。定期的に面談で教えてくれるから。保護者の意見を取り入れてもらった上で今必要なことを的確に計画作成してくれています。	ありがとうございます。計画内容についてご質問がありあしたら、適宜ご相談ください。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	24	0	0	2	何を書かれているのかわかりません。文面の意味がいまいちよくわからない。社会性がどんどん伸びて来ている。先生方が適切に支援してくれているからだと思います。	ありがとうございます。今後も努めて参ります。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	25	0	0	1	行われています。電話連絡の際、細かく教えてくれるので安心します。	今後も電話連絡等でお知らせします。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	20	0	0	6	同じ題材のプリントが毎日挟まれていて、毎日行う理由を聞いてなくて、少し疑問に思うことがあります。現状特に問題なし。似たり寄ったりな内容だと思う。(子どもの成長、発達のせい?)ホール、教室、園庭遊びがあることは分かるが、不明瞭なことも多い。	「こんなことでもして欲しい」などのご意見がありましたら、ご提案ください。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	2	5	16	あまり障害のない子と会う機会がないです。時々保育所へ遊びに行く機会などがあつたら嬉しいです。私の知る限りでは、他の子との交流はなかったと思います。現状特に問題なし。他の子どもたちと交流がある話は聞かない。地域の保育園などと交流があるともし支援級(通常級を含め)に進学することになった時、顔や名前少しでも個性を知ってもらえるきっかけができるのではないかと考えます。他園との交流は今の所聞いたことはない。	地域交流について実施が出来ておらず申し訳ありません。実施可能な具体的な方法を、職員間で検討したいと思っています。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	2	0	0	都度変更があれば説明していただいています。入所の時に説明があつたらいい?説明は管理者、担任が分かりやすくしてくれている。	ご不明な点がございましたら、お気軽に事業所までご質問ください。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	25	0	0	1	文面の意味がよく分からない。懇談の際に分かりやすく説明してくれている。	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	18	3	1	4	相談した時園で何かがあつた時にこういう風に声かけ、対処すると良いですよとアドバイスをもらいます。口頭でどう接するのかアドバイスはもらっている。母への執着が強いのでどう対応したらいいか相談等で話をしてくれています。	不十分な点もあるかと思いますが、心配事は抱え込まずご相談ください。

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができていますか	26	0	0	0	お迎えの時定期連絡で子どもの様子を教えてください。共通理解はできていると思います。家庭での困り感に共感してはいただけますが、良い案を教えてくださいと嬉しいですね。電話連絡で日頃の状況がよく知ることができています。電話連絡で色々教えてもらっている。電話連絡で細かく話をしてくれています。	今後も送迎時、電話連絡などで情報共有に努めます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	26	0	0	0	電話面談で子どもの様子が聞けて安心していただけます。面談はしてくれている。一度懇談以外で面談をしてもらって困りごとの相談をさせてもらいました。	これからも気兼ねなくご相談頂ければと思います。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	21	1	0	4	必要ないと思います。よく開催するなどの連絡がある。体操教室の後保護者で集まったり、お話する機会は貴重だなと思いました。親子で参加する行事は自分の子どものことではいっばい。いっばいでゆっくりお話することも情報共有することも難しいと感じました。保育園のようにおなじクラスのお友達のママさんとお話ができたりするだけで知らないことを教えていただいたりと助かりました。茶話会も定期的に開いてくれて感謝しています。	実施日や時間など多くの保護者の皆様が参加しやすい体制作りを検討したいと思います。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	26	0	0	0	こちらから伝えたことは丁寧に教えてください。迅速に対応してくれています。	ご相談頂けていることを、職員としても嬉しく思います。不安なことは共有していただき、協働しての解決に努めたいと思います。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26	0	0	0	こちらのお話もちゃんと聞いてくれます。変わったことがあると連絡帳で詳しく教えてください。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	21	1	0	4	毎月のお便りでクラスごとの様子を知ることができています。連絡帳の中に日程を入れてくれたり注意事項なども教えてください。月に1回のお便り以外どこで何が発信されているかわかりません。	今後も毎月お便りを発行し情報提供をします。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	25	1	0	0	注意されていると思います。	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	23	1	1	1	定期的に訓練をした連絡や防犯についての連絡はあります。周知、説明の部分では、保護者の方全員把握はされていないのではないかと思います。一度、直接先生にどんな訓練をされているのか気になってお聞きして把握した次第です。きちんと説明をその際いただき安心して通わせれるなど感じました。よく訓練していると思います。	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	25	0	0	1	地震が起きた時の避難訓練は度々聞いたことがあります。頻繁にしていないからかあまり聞かない。していると思います。(連絡帳に書かれているので)	避難訓練実施時にはご報告いたします。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	25	1	0	0	友達もできて毎日頑張ってます。嫌がることはありません。お友達も先生も好きで楽しく通園しています。毎日楽しそうに行っています。行き渋りなく楽しく通っています。	いつもありがとうございます。お子さんが楽しく通っていただけていることが、何よりの喜びです。
	23	事業所の支援に満足しているか	24	2	0	0	私も子どもの新しい部分を知ることができ、先生方の子どもに対する接し方や対応にも満足しています。今のままで大丈夫なのかもっと色々させないとダメなのかわからないけど満足はしていないかも。満足しています。	至らぬ点も多いと思います。気になることは是非、お気軽に事業所までお申し付けください。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。